



# 二輪草だより

平成26年12月号  
発行: 二輪草センター

**センターの活動予定** 年末年始のお休み期間は12月29日～1月4日です

- ◆1月5日(月)～6日(火) 冬休みキッズスクール開催
- ◆1月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより1月号発行



## 「医学生・研修医・女性医師の集い」終了報告

二輪草センター 助教 菅野恭子

平成26年11月12日に医学生・研修生・女性医師の集いが開催されました。今年度は「研修医生活ってどんなもの？」と題し研修医、その後の女性医師としてのライフスタイルを考えてもらう主旨で年代と立場の異なる6人の先生方にお話しして頂きました。まずはじめは、旭川赤十字病院初期研修医の阿部恵先生から自身の働き方をお話しして頂きました。宮崎医科大学をご卒業後、郷里の北海道に戻られ旭川で研修中とのことですが知人もなく、慣れない土地での研修にもかかわらず楽しみながら研修をしている様子が印象的でした。次にお話し頂きました旭川医科大学初期研修医の安田麻美先生は研修医仲間からアンケートをとり旭川医大の研修医の実状を報告して下さいました。また研修医終了までに身につけておきたい10の心得と称して研修医はどの様な事を心がけていくべきかをわかりやすく説明して頂きました。この心得は研修医のみならず社会人全般に参考になるような内容で非常にためになりました。3番目は市立旭川病院後期研修医の土井朋代先生で、企業に勤めてから旭川医大に編入されたとのことですが、人生の岐路にたったとき4分割表を作成しそれぞれのメリット・デメリットを考え決断してきたそうです。自分の専門科を決めたのは直感だったそうでは直感も大事と語っていました。4番目は旭川厚生病院後期研修医の塚田和佳先生で、研修医1年目にご結婚され2年目に出産されています。専門の科や働く場所の選択、働き方について不安もあり悩まれたようですが現在は血液腫瘍内科に勤務され、職場の先生方の理解と協力のお陰で仕事と子育てを両立できているとお話しして下さいました。5番目は旭川医科大学第一内科の浅野目明日香先生が2人の子育てをしながら仕事をしている様子を具体的に語って頂きました。良い保育園に巡り会えたこと、職場のサポートに恵まれたこととお話しして下さいました。初期研修中に出産した事への心情や将来恩返しできるようになりたいといった言葉が印象的でした。



最後は東光クリニック院長の長峯美穂先生が自身の体験談と開業について語って頂きました。様々な病院の勤務や各種資格・学位を取ってからのご出産で、妊娠・出産を機に開業されたとのことですが、開業のメリット・デメリットについてお話し頂きました。

今回は医師40名、学生が52名と非常に多くの学生さんに参加して頂きました。早い時期にロールモデルの体験談を聞くことは今後の自分自身の働き方や生き方の参考になると思いますので今後もより多くの学生に参加して頂ければと思います。

最後になりましたが主催頂きました旭川市医師会および北海道医師会に、この場を借りてお礼を申し上げます。またお忙しい中ご講演頂きました先生方にも深謝致します。



## 平成26年度「看護学生と看護師の語る夕べ」終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 菊地美登里

11月25日(火)、第4回目の「看護学生と看護師の語る夕べ」を開催しました。今年度のテーマは「仕事と子育てを上手に続ける“ひけつ”」としました。出産後も仕事を続けている看護職員は年々増えています。そこで、仕事と育児を上手に続けているベテラン看護師にその“ひけつ”を語っていただきました。参加者は41人でそのうち学生が12人でした。

7階東ナースステーション副看護師長金絵理さんは、時間を上手に使い何事にもパワフルに取り組んでいること、10階東ナースステーション大宮剛さんは、支えてくれる周囲の人への「感謝」の気持ちが伝わってきました。8階西ナースステーション尾上恵子さんは、子供の応援の言葉に後押しされ仕事を続けられていることが話されました。

3人のお話で共通していることは ①子供への愛情の注ぎ方は時間の長さではなく、楽しむこと ②「子育て」と「仕事」が、互いに良い影響を与えていること ③サポートしてくれる周囲との関係づくりが上手なことでした。これが続ける“ひけつ”なのだと思います。

参加者からの声では、学生から「仕事と子育ての両立に肯定的なイメージが持てた」「子育てが仕事に活かされることがたくさんあると思った」など、看護師からは「両立の悩みの解決策がわかった」「子育てに不安だったが楽しみが増えた」「出産後も仕事を続けようと思った。素敵な時間でした」など、好評でした。先輩看護師の飾らない等身大の体験談は、参加者にとって心強いエールになったようです。



## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	25回	稼働回数	23回
病児・病後児保育室	依頼回数	8回	利用回数	8回
カウンセリング相談			利用回数	9回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

### 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp) 開設時間8時30分～17時15分



二輪草だより掲載記事は、ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

